

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	adobe検定	三浦英介	1単位 28.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
デザイナーが必須としているアドビ社のアプリケーションツール、イラストレーター、フォトショップの能力検定対策講座。PC操作と検定試験の過去問題を解説し傾向と対策を行う。サーティファイ検定試験(スタンダード)の合格率向上を目指すと共に、就職活動に向けた意識向上をはかる。			
【講義概要】			
試験内容の概要。アドビCCのログインと書体アクティベート設定。アプリケーションの基本操作とツール解説を行いながら、問題集「模擬問題-1」から「模擬問題-3」までの「実技・実践」のポイントを説明する。また就職に向けての最低限必要なデザイン・スキルを身につける。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	就職対策講座
2	イラストレーター能力検定対策講座	18	就職対策講座
3	基本操作とツール解説	19	総括
4	フォトショップ能力検定対策講座		
5	基本操作とツール解説		
6	PC操作と検定試験の過去問題解説		
7	模擬問題-1解説		
8	模擬問題-1実技・実践		
9	模擬問題-2解説		
10	模擬問題-2実技・実践		
11	模擬問題-3解説		
12	模擬問題-3実技・実践		
13	サーティファイ検定試験(スタンダード)模擬試験		
14	サーティファイ検定試験(スタンダード)模擬試験		
15	就職対策講座		
16	就職対策講座		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1993年から映像制作会社にてキャリアをスタートする。デザイナーとしてクリエイティブ分野に携わったのち、フリーランスを経て、現在はアマテリアス代表。オーストラリアのゴールドコーストを中心に異文化教育の指導。アニメ制作会社タイフーン・グラフィックスの立ち上げから参加している。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部（3年制）	2025年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストレーション表現基礎	山碕杉夫	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
「イラストレーション」とは何かを学ぶ。今後の授業やポートフォリオ作りにもつながる、その基礎となるシリーズ作品を制作する。			
【講義概要】			
一口に「イラストレーション」と言ってもそのジャンルは多種多様です。みなさんが知っているジャンルはそのごく一部かもしれません。授業始め（30分）で行う座学では資料画像を見ながら、その歴史や現状をより深く知って視野を広げ、これから自分が目指すべき場所を具体的にイメージしてもらえる機会になればと思っています。また、イラストレーションとファインアートは、同じ絵といってもその役割に大きな違いがあります。最初にその違いを理解できると今後の制作活動にも役に立つと考えているので、そういう話もしていきます。実技では、イラストレーターとして多く求められるモチーフ「人物」と「風景」に注目してそれぞれ3枚づつのシリーズ作品を制作します。一つのテーマで複数枚を描くことによって、キャラクター、色合い、作風、構図などの統一感を考慮しながら制作することが求められます。自分のイラストレーションを創り上げる最初の実験をしましょう！			
回	授業計画及び学習の内容		
1	「ひと」を描く(広告やグッズに使うことをイメージ)		
2	「ひと」を描く		
3	「ひと」を描く		
4	「もの」を描く(雑誌の表紙をイメージ)		
5	「もの」を描く		
6	「もの」を描く		
7	「ふうけい」を描く(ポスターや小説の表紙をイメージ)		
8	「ふうけい」を描く		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1968年東京都生まれ。神奈川県在住。立教大学経済学部卒。会社員生活を経てセツ・モードセミナー、安西水丸のイラスト塾で学ぶ。イラストレーターとして主に書籍、雑誌を中心に活動中。第21回ザ・チョイス年度賞入賞。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部（3年制）	2025年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	メディアデザイン基礎	高林直俊	2単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
各メディアの特徴・特性を理解します。また実践的なクライアントワークを通して、自分のスキルや現状の立ち位置を把握します。また課題からプレゼンテーションまで、実践的にリアリティーを持って取り組みます。			
【講義概要】			
各メディアの特性や相互関係などを把握し、クライアントワークに取り掛かる前のベースを学びます。また課題からプレゼンテーションまで、実践的にリアリティーを持って取り組みます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション(課題発表)		
2	アーティストライブ		
3	デザインの取り組み方 & ラフ制作スタート		
4	ラフアイデア制作 & チェック		
5	ラフアイデアチェック		
6	ブラッシュアップ		
7	レコード店見学		
8	制作進行 & 進行チェック		
9	制作進行 & 進行チェック		
10	制作進行 & 進行チェック		
11	制作進行 & 進行チェック		
12	プレゼンテーション		
13	課題作品鑑賞と夏課題・夏明け授業説明		
14	SNS展開力		
15	制作進行 & 進行チェック		
16	SNS用 作品提出		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1978年東京都生まれ。2001年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。井上デザイン事務所・カワムラビデオアクティビティを経て2008年に独立。音楽関連の仕事を中心にCD・レコード・アーティストグッズなどを手掛る。また音楽イベント・写真展・美術館企画展などのアートディレクションなども多数手掛ける。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 （3年制）	2025年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ビジュアルコミュニケーションデザイン	八木航	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
各メディアの特徴・特性を理解します。また実践的なクライアントワークを通して、自分のスキルや現状の立ち位置を把握します。また課題からプレゼンテーションまで、実践的にリアリティーを持って取り組みます。			
【講義概要】			
各メディアの特性や相互関係などを把握し、クライアントワークに取り掛かる前のベースを学びます。また課題からプレゼンテーションまで、実践的にリアリティーを持って取り組みます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション（課題発表）		
2	企画立案		
3	ラフスケッチ／アイデアスケッチ		
4	制作進行 & 進行チェック		
5	制作進行 & 進行チェック		
6	プレゼンテーション		
7	ブラッシュアップ		
8	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1981年静岡県生まれ。制作会社にて雑誌タイアップ広告の制作進行を務めたのち、フリーランスのライターを経験。国際情勢関連の英日翻訳をやりながら、2011年からイラストレーターの活動をスタート。現在は書籍・雑誌・広告など幅広く活動中。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 （3年制）	2025年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	コミックA	やすこーん	2単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
実践力を伴うコミック表現とは。紙、デジタルほか、自分に合う表現方法を見つけます。			
【講義概要】			
社会に出てすぐ通じるような自己表現方法を身に付けるべく教員が経験してきた仕事等を紹介しつつ、コミックの手法で実技制作、講評を行なう。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	今までの作品紹介、自己紹介4コマ漫画		
2	自己紹介4コマ漫画（ネーム完成）		
3	自己紹介4コマ漫画（ペン入れ・提出）		
4	LINEスタンプ作り（発想法）		
5	LINEスタンプ作り（キャラ・アイデア出し）		
6	LINEスタンプ作り（イラスト作成）		
7	LINEスタンプ作り（提出・申請）		
8	ストーリー漫画製作（アイデア）		
9	キャラ・世界観・ストーリー作成		
10	ネーム作成		
11	ネーム最終チェック		
12	下絵チェック		
13	漫画原稿提出・講評		
14	講評・個別指導（出版社別アドバイスなど）		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格（59～0：D） 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
漫画家、文筆家。1991年小学館でデビュー。最近は鉄道旅の紀行文や漫画、エッセイなどでも活躍中。代表作は『GOGO! たまごっち!』シリーズ、『おんな鉄道ひとり旅』（小学館）、『メシ鉄！！！！』（集英社）など。他、東洋経済オンライン『鉄道漫遊記』など連載多数。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 （3年制）	2025年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストレーション実習	関根秀星 須田浩介	3単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
テーマや規格を定めた連作により、自作品の可能性を追求。表現の幅を広げていく。 展示を意識した2枚の連作では作品の見られ方や伝え方を学び、イラストレーターとしての表現力を身に付ける。			
【講義概要】			
各自定めたテーマに沿って、30枚の連作を描く。また、展示を意識した2枚の対になる作品も制作。各自定めたテーマに沿って、30枚の連作を描く。また、展示を意識した2枚の対になる作品も制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、展示会場下見		
2	テーマ決め		
3	作品制作		
4	進捗チェック		
5	作品制作		
6	作品制作		
7	中間講評会		
8	作品制作		
9	作品制作		
10	進捗チェック		
11	作品制作		
12	作品制作		
13	作品提出		
14	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
関根秀星：2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。千葉デザイナー学院非常勤講師。鉛筆と色鉛筆を用い、フットボールイラストレーション、ポートレイトを中心に描くイラストレーター。			
須田浩介：イラストレーター。2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業、同年シテデザールに派遣。2008年～2013年フリーアートマガジンS発行、雑誌・装画・ポスター等の仕事を手がけ、アクリル絵の具を使ったファッション感のある人物、動物等を主に描く。跡見学園女子大学イラスト非常勤講師。			

創形美術学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程		ビジュアルデザイン科 屋間部（3年制）	2025年度	2年IL専攻・前期
講義区分		授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技		ポートフォリオA	白川桃子	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
ポートフォリオ制作を通して、自身のクリエイティビティを発揮した上でブランディング構築をしたり、仕事に対する意識を高めたりと、将来のキャリア形成に役立てることを目標とします。ポートフォリオに完成はなく、日々アップデートしていくものです。いきなり100点は目指さずに、まずは手を動かしてつくってみることからはじめましょう。				
【講義概要】				
「伝わるポートフォリオづくり」 就職活動時に必要なポートフォリオにおける、基本から実制作までステップを経て進めていきます。 基本では、そもそもポートフォリオをつくる目的や、自己分析、業界理解、制作プロセス・ポイントなどを学びます。実制作では個別のフィードバックを通して一緒に相談しながらポートフォリオをつくりあげ、自身の今後につなげていきましょう。				
回	授業計画及び学習の内容			
1	オリエンテーション／ポートフォリオの「目的や役割」			
2	ポートフォリオの「構成とテーマ」			
3	ポートフォリオの「デザインとレイアウト」			
4	ポートフォリオ制作・個別フィードバック			
5	ポートフォリオ制作・個別フィードバック			
6	ポートフォリオ制作・個別フィードバック			
7	ポートフォリオ制作・個別フィードバック			
8	ポートフォリオ制作・個別フィードバック			
【成績評価方法】				
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留				
【授業の特徴・形式と教員紹介】				
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。				
静岡大学教育学部卒業。2009年株式会社コンセント入社。企業の広告プロモーション、コミュニケーション支援などメディア問わず幅広くアートディレクション・デザインを手掛ける。編著に、企画編集・デザインを自身で行った『たのしく、イラストディレクション！』（株式会社ビー・エヌ・エヌ）がある。				

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部（3年制）	2025年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	商品企画・デザイン	株式会社サンシャインエンタプライズ	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
・発想力を養う ・マーケティングの基礎や商品製作のプロセスを知る ・商品を販売するにあたっての原価・売価 ・利益などのお金の流れを理解する			
【講義概要】			
池袋・サンシャインシティ内にあるアミューズメント施設、「サンシャイン水族館」の商品開発を通してアイデア出しやデザインだけでなく、販売に至るまでの必要なプロセスを学びます。主にグループワークを中心として、実際に店舗や水族館を見学しながら、最終的に商品企画をグループ毎にプレゼンテーションします。アイデア力や実現可能性次第では、実際に水族館店舗での販売も検討します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	課外授業		
3	授業/グループワーク		
4	課外授業		
5	授業/グループワーク		
6	プレゼンテーション・講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部（3年制）	2025年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デジタルイラストレーションA	花島百合	1単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
パソコンを使ってイラストを制作してもらいます。ソフトの長所や技術など、コンピューターを通しての作品作りを学びます。			
【講義概要】			
イラストレーター、フォトショップを使ったイラストレーションの制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	ラフ制作		
3	ラフチェック		
4	制作指導		
5	講評会		
6	課題説明、ラフ制作		
7	ラフ制作		
8	ラフチェック		
9	制作指導		
10	講評会		
11	課題説明、ラフ制作		
12	制作指導		
13	制作指導		
14	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
創形美術学校卒業後よりイラストレーターとして活動。ザ・チョイス入選。CWCチャンス展セミファイナリスト入選。広告、商品、出版物、キャラクターイラスト、アニメーション等のイラストレーション制作。			

創形美術学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程		ビジュアルデザイン科 昼間部（3年制）	2025年度	2年IL専攻・前期
講義区分		授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技		キャラクターデザイン	飯田友和	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
キャラクター制作において、内容を練ることから始め、様々な可能性を模索しデザイン案を出すことや、実利用を想定した完成度で仕上げるなど、実践を意識した制作をします。				
【講義概要】				
商業コンテンツを想定したキャラクター制作。 デザイン案、ラフ・下書き、クリンナップと、仕事と同様の手順、段階を踏んで成果物を仕上げます。 きれいに仕上げることに以外にも、まずテーマを踏まえたデザインを模索、検討することを重視し制作をします。				
回	授業計画及び学習の内容			
1	オリエンテーション			
2	ラフ制作			
3	ラフチェック			
4	制作指導			
5	制作指導			
6	制作指導			
7	制作指導			
8	講評会			
【成績評価方法】				
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留				
【授業の特徴・形式と教員紹介】				
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。				
埼玉県在住。東京デザイナー学院ビジュアルデザイン科卒。アニメ・ゲーム制作会社の作画を経て、現在フリーランスイラストレーターとして活動中。企業や広告、各種コンテンツのイメージキャラクターやマスコットキャラクターデザイン、様々な用途のイラスト、グラフィックデザイン制作の他、Web広告バナーの制作実績は数百点。				

創形美術学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程		ビジュアルデザイン科 昼間部（3年制）	2025年度	2年IL専攻・前期
講義区分		授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技		リソグラフ	Noy 藤賀 日陽子	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
リソグラフ印刷の仕組みや特性を理解し、実践的な制作を通じて印刷表現の可能性を学びます。一緒に印刷手法を活かした自分なりの表現方法の幅を増やしましょう。				
【講義概要】				
製版から印刷、製本までを体験しながら、リソグラフならではの色やズレを楽しみながら、作品制作に取り組みます。ZINEなどの印刷物制作も行います。 最終的に増刷などを行い、展示や販売に向け作品を作ります。				
回	授業計画及び学習の内容			
1	オリエンテーション			
2	リソグラフ印刷機説明			
3	製版			
4	試し刷り			
5	印刷			
6	印刷物(ZINE)制作			
7	制作指導			
8	講評会			
【成績評価方法】				
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留				
【授業の特徴・形式と教員紹介】				
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。				
Nov: 大阪府生まれ、東京都在住のイラストレーター。 「異文化との対峙」をテーマにデジタルイラストやフィギュアを制作する。クライアントワークでは書籍の挿し絵やグッズデザインを手がける。2023年より、原宿のリソグラフスタジオ、「STUDIO LE MONDE」にてリソグラフ印刷のオペレーターを務めている。 藤賀日陽子:1996年 東京生まれ。2021年 多摩美術大学情報デザイン学科情報デザインコース卒業。 2019年 フリーランスデザイナー・イラストレーターとして活動開始。2022年 永原康史事務所に契約社員として一年勤務。2023年 リソグラフスタジオ studio lemondeにて印刷オペレーターとして勤務。会社都合により退職。 2021年～ 東京のアートブック/zineイベントに出展。GALS POPUP 阪神梅田。taipei art book fair(2023/2024)。NEVER MIND BOOKS 札幌テレビ塔 など20回以上。2023年 2人展apart K @ギャラリー小宇宙。2024年 dragon art book day @bonus track。カレンダー展 @gallery iro。2025年 Snake Artbook Day @渋谷ヒカリエ				

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2025年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	パッケージデザイン	田中北斗	1単位 9時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
世の中にある様々なパッケージデザインを考察し、リランディング 及びパッケージデザインのリニューアルに挑戦します。リニューアルへむけた商品の企画(ターゲット再考、コンセプトの立案)、パッケージデザイン、構造の再検討など既存の商品パッケージを題材に、幅広い知識やデザインスキル(グラフィック及びプロダクトデザイン)を学びます。			
【講義概要】			
授業前半で、課外授業を実施。印刷博物館で開催される「現代日本のパッケージ2025展」を訪れ、日本三大パッケージコンペティションでの入賞・受賞作品より、プロのアイデアやデザインを考察します。 その後、各自、リニューアルの題材となる商品パッケージを決め、リニューアルコンセプト～デザインを制作。モックアップ(パッケージダミーの工作)と企画書を制作し提出します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、課題説明		
2	課外授業		
3	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。 企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデューサーも手掛ける。東京都中小企業支援専門家(デザインコンサルティング)			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ベーシックイラストレーション	都築 潤	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
イラストレーションを軸に、各種アイデア、デザイン、説明能力について、基本的な予備演習を行います。			
【講義概要】			
既存メディアへのイラストの実装。既存キャラクターのリデザインと展開。メディアやテーマの要求に応えることと、そこから飛躍する発案をすること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	課題1 ガイダンス/出題/ラフ考案		
2	ラフ3案中間発表		
3	作品発表		
4	課題2 ガイダンス/出題/ラフ考案		
5	作品発表		
6	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1962年生まれ。日本グラフィック展、ザ・チョイス年度賞、クレセントイラストコンペ、年間日本のイラストレーション、毎日広告賞、TIAA、カンヌ国際広告祭、アジアパシフィック広告祭、その他で受賞。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部（3年制）	2025年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	池袋ブランディング	田中北斗	1単位 9時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
グループワークで体験したフィールドワーク、リサーチ、企画、考え方を活かし、デザイン～モックアップに起こすことでよりリアルなクライアントワークを意識した作品制作を目指します。			
【講義概要】			
サンシャイン水族館の商品企画課題を引き継ぎながら、今回は個人ワークとなります。グループワークで企画した商品を元に、個人個人が考える商品をデザインに起こし、モックアップ制作まで行います。商品 及び 商品を入れるパッケージまでを制作。各自の作品撮影も行います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、課題説明		
2	アイデアチェック		
3	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。 企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデューサーも手掛ける。東京都中小企業支援専門家(デザインコンサルティング)			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ファッションイラスト	平沢けいこ	2単位 66時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
与えられたテーマの中で自分の世界を表現しつつも自己満足に終わらず、他者にも伝わるイラスト表現を考える。			
【講義概要】			
テーマに沿ったイラストを制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション/課題の出題	18	制作
2	制作	19	制作
3	制作	20	制作
4	制作過程チェック	21	制作
5	制作	22	講評会
6	制作		
7	制作		
8	講評会／課題の出題		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	制作過程チェック		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	制作		
17	制作過程チェック		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1970年東京都生まれ。PATER大賞展PATER賞受賞。テンプスタッフ『テンプリん。』などのキャラクター他、広告・出版など主に女性向けのイラストレーションを手掛ける。			

創形美術学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程		ビジュアルデザイン科 昼間部（3年制）	2025年度	2年IL専攻・後期
講義区分		授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技		絵本イラストレーションA	竹内通雅	1単位 27時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
絵本表現における言葉と絵の関係性について考察し、実技演習を通して表現力、技術力を培う。				
【講義概要】				
同一テーマで手製絵本を制作する。				
回	授業計画及び学習の内容			
1	ガイダンス、課題説明 プロット等確認、相談。ラフ画制作			
2	ラフ画チェック			
3	本画制作			
4	進捗状況チェック			
5	本画制作チェック			
6	仕上げ相談、制作			
7	仕上げ相談、制作			
8	仕上げ相談、制作			
9	講評			
【成績評価方法】				
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留				
【授業の特徴・形式と教員紹介】				
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。				
1957年長野県生まれ。1979年創形美術学校研究科版画課程修了後現代美術作家として活動。1983年よりイラストの仕事を開始。1986年第3回ザ・チョイス年度賞大賞受賞。1996年から絵本作家として活動中。				

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部（3年制）	2025年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デジタルイラストレーションB	香川綾子	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
パソコンやタブレットなどのデジタルツールを使って、作品を制作しながらデジタルイラストの技術や長所を学びます。			
【講義概要】			
イラストレーター、フォトショップを使ったイラストレーションの制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	個別指導		
4	制作指導		
5	制作指導		
6	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格 (59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
大分県立芸術文化短期大学(生活造形専攻)卒業。2015年よつみわーくす漫画アシスタント(在学中)。2016年アイディアファクトリー株式会社アズールレーンCW/オトメイトを中心にイラスト担当。2020年株式会社Cygames。プリンセスコネクトを中心に衣装/キャラデザイン、イラストを担当。2024年ゲーム会社勤務 アートディレクター/キャラクターデザインを担当。フリーランスイラストレーター。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2025年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	パッケージデザイン & セールスプロモーション	岩谷昇 藤本陽	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
パッケージデザインの授業では購入者ターゲットを明確に決め、ブランディングやターゲットに有効な訴求をすることが目的です。また、セールスプロモーションの授業では先にデザインしたパッケージ(商品)の特徴を魅力的にアピールし、購買意欲を喚起させるツールを制作するのが目的です。			
【講義概要】			
1.デザインするパッケージ商品を決める。 2.ペルソナ(購入者ターゲット)を設定する。 3.売場を設定する(学校外への視察も検討) 4.パッケージデザイン & セールスプロモーションのイメージ制作。 5.パッケージモックアップ制作 6.パッケージモックアップ撮影			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、課題説明		
2	パッケージ企画制作		
3	企画プレゼン		
4	パッケージ制作		
5	講評、個別指導		
6	セールス企画会議		
7	プロモーションツール制作		
8	プレゼンテーション、講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
岩谷昇:1973年生まれ。株式会社ライズ・グラフィクス代表取締役 アートディレクター。広告やセールスプロモーション、ブランディングやCI・VIなどの企画立案とデザイン業務で活動中。 藤本陽:1983年東京生まれ。2004年有限会社ティーツー(入社)。スタジオでの百貨店とアパレルの服飾・宝飾・食品とモデルの写真撮影が主で、雑誌等の出張撮影も行う。2012年AFART設立(独立)。2017年千葉デザイン学院(非常勤講師)。2024年有限会社ティーツー(代表取締役)。			

創形美術学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程		ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	2年IL専攻・後期
講義区分		授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技		エディトリアルイラストレーション	宮古美智代	2単位 66時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
イラストレーションのマーケットにおいて、エディトリアルな占める割合は大きい。実際のエディトリアルデザインの現場に携わるアートディレクターによる実習。ADの視点において評価していく。				
【講義概要】				
与えられた短編を読み、その文章のためのイラストを描く。文章を読み解き、何を描くべきか、また、どのようにレイアウトデザインにおとしこんでいくか。その考えと実制作を行なう。 ①. 各学生の作品を見る。短いエッセイを読んでもらい、どんな絵を描きたいと思うかディスカッション ②. 雑誌や絵本等を見て、イラストと文章の関係について考えてみる。短編を読み、描くモチーフ、ページ構成を考える。 ③. 描き上げた絵をスクリーンに映し、その絵がどのようにレイアウトされていくかを説明しつつ、実践。各自講評				
回	授業計画及び学習の内容			
1	オリエンテーション	18	制作	
2	第1課題説明、ラフ作成	19	制作	
3	ラフ確認、課題制作	20	制作	
4	課題制作、進行状況確認	21	制作	
5	制作	22	最終講評	
6	制作			
7	制作			
8	第1課題講評会			
9	第2課題説明、ラフ作成			
10	ラフ確認、課題制作			
11	課題制作、進行状況確認			
12	制作			
13	制作			
14	制作			
15	第2課題講評会			
16	個別指導、ブラッシュアップ			
17	制作			
【成績評価方法】				
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留				
【授業の特徴・形式と教員紹介】				
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。				
1976年生まれ。アートディレクター。イラストレーター・石倉ヒロユキ、装幀家・緒方修一のアシスタントを経て、現在、雑誌『Coyote』『MONKEY』『暮しの手帖』のアートディレクター。				

創形美術学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程		ビジュアルデザイン科 昼間部 （3年制）	2025年度	2年IL専攻・後期
講義区分		授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技		イラストレーション個性と表現	河井いづみ	2単位 78時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
自分の個性に気づき、それを表現力に繋げ、オリジナリティーある作品を制作する。				
【講義概要】				
雑誌・webなどの星占いページへの掲載を想定し、12星座を自分の世界観で描く。イラストレーションと共に文字やデザインも合わせて仕上げる。				
回	授業計画及び学習の内容			
1	オリエンテーション			
2	制作指導			
3	制作指導			
4	課題作品講評			
5	制作指導			
6	制作指導			
7	制作			
8	制作指導			
9	課題作品講評			
10	制作指導			
11	制作			
12	制作指導			
13	課題作品講評			
14	制作指導			
15	制作指導			
16	制作			
17	講評会			
【成績評価方法】				
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格 (59～0:D) 仮処置:保留				
【授業の特徴・形式と教員紹介】				
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。				
イラストレーター、画家。長崎県生まれ。2002年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。 鉛筆画やリトグラフによる独自のテクスチャを生かした、躍動と静けさが同居する世界観が魅力。2003年より3年間フランス・パリのアーティストインレジデンス等で活動。現在は東京を拠点に、書籍装画、広告、ファッションやパッケージのイラストやデザインなどを制作する他、国内外での展示も多数行う。				

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2025年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	マガジンデザイン	高林直俊	2単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
マガジンの表紙および中面のレイアウトを制作しながら、グリッドシステムやタイポグラフィなど、デザイン原則を学びます。自作のイラストや写真を効果的に活用し、魅せる表現を探究するとともに、視覚的なアイデアを多角的に模索します。見る側と見せる側、両方の視点を意識しながら、「伝える力」の向上を目指します。			
【講義概要】			
グリッド設計、書体選定、画像やイラストのサイズ・配置・トリミングなど、一連のデザイン工程を実践的に体験します。また、自身のイラストや制作物の効果的な見せ方についても学び、ポートフォリオへの応用を視野に入れた表現力を養います。使用ソフトはAdobe Illustratorを基本とします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	全体チェック
2	課題説明	19	ブラッシュアップ
3	企画立案	20	講評会
4	ラフスケッチ		
5	イラスト制作		
6	イラスト制作		
7	イラスト制作		
8	イラスト制作		
9	イラスト制作		
10	中間講評		
11	誌面構成		
12	誌面構成		
13	誌面構成		
14	誌面構成		
15	デザイン構成		
16	デザイン構成		
17	デザイン構成		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1978年東京都生まれ。2001年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。井上デザイン事務所・カワムラヒデオアクティビティを経て2008年に独立。音楽関連の仕事を中心にCD・レコード・アーティストグッズなどを手掛ける。また音楽イベント・写真展・美術館企画展などのアートディレクションなども多数手掛ける。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 （3年制）	2025年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵本イラストレーションB	岡山伸也	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
既存の物語という限定された条件の中、制作することで、いかにして自分のオリジナリティを反映させ作品、商品として質の高い絵本に仕上げていくかを学びます。			
【講義概要】			
名作物語やおとぎ話に挿絵を描く形で絵本を制作します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	絵コンテ製作		
3	絵コンテ講評		
4	ラフ～本描き		
5	本描き		
6	本描き		
7	製本・講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1982年茨城県生まれ。2006年創形美術学校ファインアート科卒業。2007年同校研究科絵画造形課程修了。2008年パリ国際芸術都市滞在。国内外で個展やグループ展を開催。絵本やイラストの仕事多数。絵本『とおいほしでも』(文/内田驍太郎、絵本塾出版)『ゆきわたり』(文/宮沢賢治、河出書房新社)など。			

創形美術学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程		ビジュアルデザイン科 昼間部（3年制）	2025年度	2年IL専攻・後期
講義区分		授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技		短編コミック	石山さやか	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
漫画作品(最大16ページ)の制作。 これまで培ってきた自分の作風・興味のあるテーマを大事にしつつ、さらに発想力・考える力を磨いてゆきます。				
【講義概要】				
よく知られる物語の要素を置き換え、自分の漫画作品に仕上げる『翻案』を行います。物語の趣旨を捉える理解力、自分なりのアイデアを込め、作りあげる発想力を問います。				
回	授業計画及び学習の内容			
1	オリエンテーション・プレスト			
2	制作指導			
3	進捗チェック(ネーム)			
4	制作指導			
5	進捗チェック(ネーム直し・下書き)			
6	進捗チェック(作画)			
7	講評会			
【成績評価方法】				
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留				
【授業の特徴・形式と教員紹介】				
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。				
1981年埼玉県生まれ。創形美術学校ビジュアルデザイン科イラストレーション専攻卒業。都内の広告代理店で勤務後、イラストレーター・漫画家としての活動を始める。主な仕事は書籍装丁、雑誌挿絵、児童書挿絵、CDジャケットなど。2017年に初の単行本『サザンウィンドウ・サザンドア』(祥伝社)発売。				

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	プロダクトイラストレーション	足立拓人	2単位 96時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
商品に付加価値を与えるための「絵」としてイラストレーションを制作する。同時に雑貨マーケットのイラストレーションを研究する。			
【講義概要】			
プロダクトイラストレーションについて、いくつかのテーマをもとに実際のシチュエーションを想定し、制作する。イラストレーションを使ったオリジナルプロダクト製品及びロゴやパッケージ等を制作する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／第一回課題の説明	18	制作
2	制作	19	制作
3	制作	20	制作
4	制作	21	第三回課題講評
5	制作	22	第四回課題説明
6	第一回課題講評	23	制作
7	第二回課題説明	24	制作
8	制作	25	制作
9	制作	26	制作
10	制作	27	第四回課題講評
11	制作	28	ブラッシュアップ
12	制作	29	ブラッシュアップ
13	第二回課題講評	30	ブラッシュアップ
14	第三回課題説明	31	ブラッシュアップ
15	制作	32	講評会
16	制作		
17	制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1981年香川県生まれ。CD、Tシャツ、電子書籍などでイラスト、デザインを制作。フリージン制作集団『KNAKED』、絵本ユニット『MAMI』を立ち上げ幅広いジャンルで活動中。現在はアートユニット『最高記念室』に参加しTOKYO CULUTUART by BEAMSにて展示「最高記念室」(2013)を開催。個展やジャンルを問わないグループ展、イベントで作品を発表。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ポートフォリオB	上野仁志	3単位 72時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
ポートフォリオの授業では就職活動時に提出するポートフォリオの作り方を学びます。クリエイティブ業界の情報を学びながら、社会人になるための準備を始めます。			
【講義概要】			
自分のポートフォリオを制作し、プレゼンテーションを行ないます。また、就職についての講義を行ないます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	1回目(講義:ポートフォリオについて)	18	ポートフォリオチェック
2	ポートフォリオチェック	19	講義(面接・プレゼン)
3	講義(面接・プレゼン)	20	講義(面接・プレゼン)
4	制作	21	講義(面接・プレゼン)
5	ポートフォリオチェック	22	講義(面接・プレゼン)
6	制作	23	講義(面接・プレゼン)
7	制作	24	講評会
8	制作		
9	2回目(講義:クリエイティブの就職について)		
10	制作		
11	ポートフォリオチェック		
12	制作		
13	制作		
14	3回目(講義:クリエイティブの就職について)		
15	制作		
16	制作		
17	制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義及び実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。			